情報通信分野推進戦略PT会議

ヒューマン・インターフェース及びコンテンツWG 報告(その1)

情報の集積・価値化と発信が国の文化度と国力となる

内外への発信をいかに増強するかが鍵

平成18年1月24日(火) ヒューマン・インターフェース及びコンテンツWG 座長 安田 浩

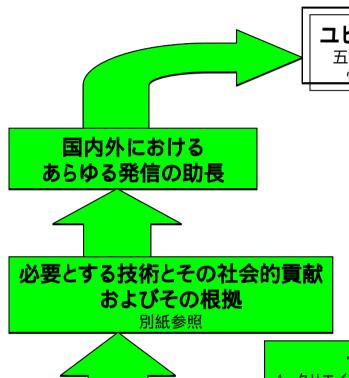
国・地域の知財力を強化するには

情報の価値化・知識化・映像を用いた発信が鍵

国内での情報の集積化と迅速なアクセスが必要 グローバルに最新の情報への迅速なアクセスが必要 情報の日本文化に整合した効率的理解促進が必要 グローバルな理解を得るための情報発信が必要 知識化・理解促進のためにすべてのデバイド解消が必要 上記を支えるためのNWインフラ・B C!技術が必要

2006.1.25 安田 浩 All rights reserved

インターフェース&コンテンツWGからの報告



全ての

産業/研究/教育活動

の効果向上

ユビキタスプロードバンドNW基盤の整備

五感情報のグローバルな発信・取得が日常となり、 情報に基づく社会生活・産業活動が基盤となる

社会からの要請

世界全体

環境にやさしく

心を豊に 物から文化へ

情報爆発・デバイドへの対処が必要

日本特有

小資源国で頼りは知財

最も早い少子高齢化

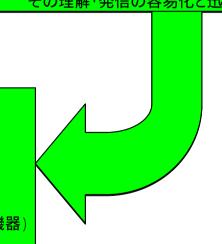
世界・アジアの中での地盤高揚

全ての活動への基盤は何になるか

情報の価値化·知識化および その理解·発信の容易化と迅速化

そのための基本的施策は何か

- 1. クリエイティブ人材の養成
- 2. 感動と理解のための夢のシステム実現
- 3. 多国間スーパコミュニケーションの実現
- 4.新文化の構築・異文化交流の促進
- 5.パワービジュアライゼーション(可視化と超シミュレーション)
- 6.デバイド解消(弱者、文化/慣習、理解速度、操作性、NW/機器)
- 7.情報の巨大集積化とその活用
- 8.安心·安全情報流通
- 9.安心・安全地域コミュニティの構築



2006.1.25 安田 浩 All rights reserved 3